

## 勝山市農地賃借料情報

平成21年1月から12月までに締結（公告）された農地（田：水稲）の賃貸借における賃借料水準（10a当たり）は、下記のとおりです。

農地の賃貸借契約を締結する場合の目安としてご活用ください。

問 農業委員会（市役所1階）（☎88-8115）

単位：円/10a（田：水稲）

地区名	区分	平均額
平泉寺	基盤整備地域	11,400
	未整備地域	10,000
勝山・猪野瀬	基盤整備地域	9,000
	未整備地域	7,700
村岡	基盤整備地域	10,800
	未整備地域	6,400
野向	基盤整備地域	12,500
	未整備地域	9,800
荒土	基盤整備地域	11,400
	未整備地域	9,100
北郷	基盤整備地域	13,000
	未整備地域	10,000
鹿谷	基盤整備地域	10,400
	未整備地域	8,100
遅羽	基盤整備地域	6,400
	未整備地域	4,800

市の平均：10,500

## 8月14日の主なイベント

● かちやまワッショイ2011  
（10周年記念大会）

午後3時～（元禄線ほか）

● 納涼花火大会2011

午後8時～（弁天緑地）

## 勝山温泉センター「水芭蕉」 からのお知らせ

8月17日（水）は休まず営業します

問 水芭蕉（☎87-1507）

## 市営栄町住宅 入居者募集中（9月下旬完成）

住所 ▶ 栄町1丁目5番6号（保健所跡地）  
規格 ▶ 鉄筋コンクリート2階建て  
間取り ▶ 2DK8戸、3DK4戸  
家賃 ▶ 19,000円～51,000円

※所得に応じて変動します

申込締切 ▶ 9月2日（金）

入居資格など、詳しくは下記までお問い合わせください。

申・問 建設課（市民会館2階）

（☎88-8107）



## 市民活動ネットワークのご紹介

### ゴスペル ウィンディ フレンズ

こんにちは。歌を通して、幸せの階段を作っているゴスペル・ウィンディ・フレンズです。活動を始めて10年になります。

ゴスペルは黒人霊歌がルーツですが、美しい心・風景など、勝山の人にも共感できる内容の歌だと思います。軽快なリズムの歌が多く、悲しみも苦しきもみんな吹飛ばしてしまおう、といった強い意志を感じます。

このたび、下記のとおり記念コンサートを開催します。どうぞお越しください。

### 10周年記念ゴスペルコンサート

とき ▶ 8月19日（金）午後7時30分～

ところ ▶ 勝山ニューホテル

※入場無料（要整理券。ホテルフロントで配布）

問 ☎090-2837-3050（シマダ）



## エコ協通信

### 「エコ協」部会の 活動紹介

#### ④ 「自然・環境」部会

当部会では、多くの方が勝山各地の自然遺産の素晴らしさを認識し、その魅力を継続的に追求してもらえるような活動をしています。

一つ目の活動として「勝山の自然・環境ガイドマップ（仮称）」を作成しています。恐竜溪谷ふくい勝山ジオパークの特徴や、特筆すべき動植物の情報を掲載する予定です。

なお、このガイドマップ作成には、各公民館を通して多くの方々にご協力をいただきました。

私自身、資料作成に携わりながら、わが地域の身近な自然遺産の魅力に改めて触れた思いがしました。このマップが、市民の皆さんをはじめ、来年に開催される「環境自治体会議

かつやま会議」に全国から来られる方や関係者にとつて、興味深いガイドマップとなれば幸いです。



二つ目の活動として、身近な自然環境に直接触れて、その魅力を実感できる機会を設けています。例えば、遅羽町住民協議会による「バンビライン遊歩道保全事業」や、猪野瀬まちづくり推進協議会による「大師山自然・歴史探訪事業」があります。

四月十日のカタクリまつりには多くの方が参加され、バンビラインに登りました。カタクリの開花時期は、その年の降雪量に左右されます。今年はその山の中腹付近に雪が残り、花を十分に観ることができませんでしたが、尾根付近には雪はなく、群生しているカタクリの花を楽しむことができました。

五月二十八日に開催した大師山の春の観察会は、シソバツナミソウを主にした観察会ですが、初夏に近い季節柄、ヤマボウシ等の花や色鮮やかな新緑を満喫できるイベントとして計画しました。樹木の整備で山頂からの視野が広がり、その景色には感動を覚えました。

勝山の自然・環境に、より親しみ、自ら自然を愛し、共生していく実践態度を養う多様な機会を、これからも考え出していきたいです。

（自然・環境部会 副部長 竹原幸雄）

#### 問 未来創造課（市役所2階）

（☎88-1115）

## 「勝山エコライフ」コラム

### 第3回 勝山の自然の魅力とは？

勝山で生活を始めて4か月が過ぎましたが、勝山の自然には、毎日新しい発見があります。では、勝山の自然の魅力とは何でしょうか？ おまかにまとめてみます。

#### ■ 生物・環境の多様さ

まず挙げたいのは、生物多様性の豊かさ、つまり、いろいろな生物がいるということです。勝山には、九頭竜川の左右に、里地・里山の環境が拡がり、そこから最高峰の大長山（標高1671m）などの手つかずの森まで、多様な環境があります。例えば、カエルが13種、ホタルが10種もいるのは、環境の多様さの現れです。また、特に全国的に激減している田んぼの生き物（トノサマガエルやアカアネ）など、かつての里山を代表する生物たちがまだ普通に見られることは、実は素晴らしいことなのです。

#### ■ 生物がいっぱい

次に挙げたいのは、生物の個体数の多さです。もちろん昔より減少しているものがほとんどだと思います



が、他地域と比べると、例えばゲンジボタルやササユリなどは、数多く残っています。都会から来た子どもたちは、勝山のカブトムシやクワガタの多さに、とても驚きます。



ミヤマクワガタのオス

#### ■ はっきりした四季

最後に挙げたいのは、季節の変化が著しいことです。はっきりした季節の変化は、人間にとっても魅力です。生物の多様性にもつながっています。特に3月下旬に勝山に来た私には、なぜあれだけ雪があったのに、現在は一面緑で、しかもこんなに生き物がいるのが、不思議でたまりません。

皆さんにとって「当り前の自然」には、日本全域で失われてきた「日本らしい自然」がまだたっぷり残っているのです。かつて当り前だった自然も、今では貴重な宝物です。この価値を認めていただき、いつまでも、日本らしい、そして、勝山らしい自然を残してほしいものです。

## 当り前の自然・・・それは貴重な宝物